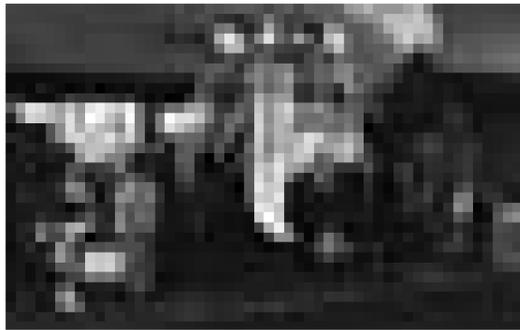


安全な行動の力を養う

5/11 消防団教育訓練

市消防団の教育訓練が5月11日、明科中学校などで行われました。この日の訓練は、班長以上の幹部や新入団員など約400人が参加し、号令や礼式など基本動作や、火災戦術などを学びました。

藤巻一嘉・明科消防署長は「適切な指示、命令など、規律を学ぶことは、安全な行動の力となる。今後の活動に生かされることを期待します」と講評し、訓練をしめくりました。



都市と農村の架け橋として

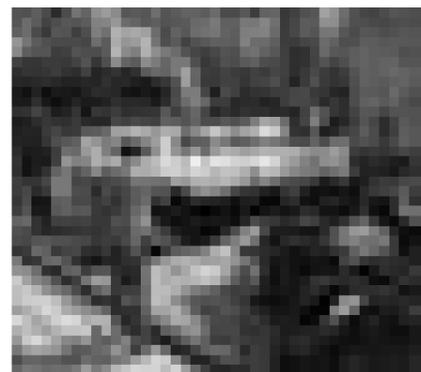
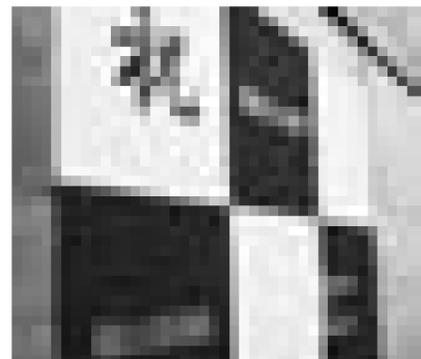
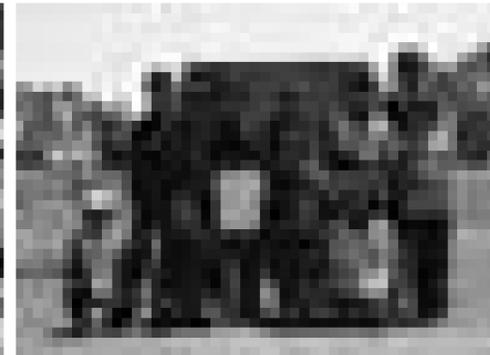
5/3 ファインビュー室山10周年記念イベント

農林漁業体験実習館・ファインビュー室山が開館10周年を迎え、5月3・4日の両日、記念イベントが開かれました。同館は、農業体験などを通じた都市と農村との交流拠点として平成11年4月に旧三郷村が整備したもので年間20万人以上が利用。記念のくす玉割りに加わった塩尻市の柳沢光男さん・美也子さん夫妻は「多い時で週2泊している。温泉も良く、何よりスタッフの対応が素晴らしい。今後も利用したい」と話していました。

市は7位、小学生は4位

5/6 市町村対抗駅伝

第18回長野県市町村対抗駅伝競走大会が5月6日に開かれました。大会には56市町村が参加。松本城太鼓門前をスタートし、松本平広域公園陸上競技場までの8区間(39.3km)でたすきをつなぎました。この日は、沿道に安曇野市からも大勢の市民が駆けつけ、選手たちに声援を送っていました。結果は7位入賞の好成績。8区を走った中村祐紀さん(三郷温)は、「昨年より順位は下がったが、チームはまとまり、満足のいく内容だった。来年につなげたい」と話しました。また、市町村対抗小学生駅伝競走大会が陸上競技場で同時開催されました。結果は4位で、昨年より4秒早い好タイムとなりました。2区を走った二村航平くん(穂高北小6年)は、「全力を出し切った。走ることが好きで練習が続けられた。来年は優勝を目指してほしい」と期待を寄せました。



誕生の軌跡をたどる

4/22 碌山美術館50周年記念日

日本近代彫刻の先駆者・荻原碌山を顕彰する碌山美術館が4月22日に開館50周年を迎え、これを記念したイベントが同日開かれました。この日は約700人が訪れ、節目の日を祝い、展覧会やコンサートなどを鑑賞しました。

記念式典に出席した平林市長は「市のイメージ向上への影響は大きく、安曇野のシンボル、心の象徴として今後も発展することを願っています」とあいさつしました。

またこの日は、絵画室などを備えた「杜江館」が本館北側にオープンし、施設内が来場者に披露されました。(碌山美術館誕生までの軌跡については、広報3月号〔No.56・3月19日発行〕に掲載)



ようこそ、新社会人

4/23 新規学卒就職者歓迎会

市と市商工会は4月23日、新規学卒就職者歓迎会を安曇野スイス村サンモリッツで開きました。本年度、市内では37社に198人が入社。歓迎会には、うち92人が参加しました。就職者代表の金井深幸さんは、あいさつの中で「これから学び出会う経験を大切に、地域・社会の発展に貢献したい」と意気込みを述べました。また、今年初めての試みとして、休憩時間に来賓や就職者同士が懇談する機会が設けられ、互いに交流を深めていました。式の後には市内企業の人事担当部長による「企業人に期待すること」と題した記念講演が行われ、参加者は社会人としての心構えを学びました。



自慢の機体で競い合う

4/6 安曇野紙飛行機競技大会

安曇野紙飛行機競技大会が4月6日、豊科南部総合公園で開かれ、県内外から愛好者など72人が参加しました。同実行委員会が主催したこの大会は、規定の機種やオリジナル機、手投げ部門やゴムを使って飛ばす部門など計7部門が実施され、参加者はそれぞれ自慢の機体で滞空時間を競い合いました。この日は家族連れの参加が多く、風の状況を子どもにアドバイスする父親の姿や、兄弟で競い合う姿が見られ、それぞれに春の一日を楽しんでいました。